

7 - 2 水際の利用

吉野川の水際は、シジミ取り、シラスウナギ漁、アユ漁、スジ青ノリの養殖などの漁業活動が行われるとともに、潮干狩り、魚釣りなどのレクリエーションの場として利用されています。

漁業活動として、下流部の汽水域では、春から夏にかけてシジミ、アサリ、ハマグリなどの3種類が採取されています。また、試験研究や増養殖用の種苗の供給等のため、シラスウナギ漁が行われています。



徳島市内 吉野川橋梁



吉野川河口

鮎喰川合流付近から下流部では、秋から夏にかけてスジ青ノリの養殖が行われています。水際には養殖網が設置されています。



徳島市内 吉野川河口

第十堰から上流部では、夏になるとアユ漁、アユ釣りが盛んに行われています。



吉野町内

また、漁業の場としての利用以外に、潮干狩り、魚釣り（アユ釣り、バス釣り等）などのレクリエーションの場として、広く一般の人々に利用されています。なお、第十堰、旧吉野川河口堰、今切川河口堰など、堰の上流側50m以内、下流側150m以内、および各橋梁上での魚釣りは禁止されています。



ブラックバス釣り（吉野町・鴨島町内）



アユ釣り（吉野町内）



リバーキーパーズ関連イベント『ファミリーハゼ釣り大会』の様子

吉野川では、次のような魚を主に釣ることができます。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">●下流では、スズキ（セイゴ）、キス、キビレ、ハゼ、ボラ、ワナギ●中流では、アユ、ハエ、ブラックバス、コイ、ヘブラナ、フナ●上流では、アメゴ、イワナ、マス |
|--|